

水田受委託経営の経営面積と圃場条件に関する研究

講 師 佐久間 泰 一

1. 研究の概要

日本農業の大きな特徴のひとつとして、経営規模の零細性が第一に挙げられる。高度な生産手段を使用し生産性を向上させるための規模拡大は昭和36年に制定された農業基本法の目的に挙げられたが、その後の情勢の変化は、水田の売買による経営規模拡大を困難にした。一方で、請負や協業などのように、土地所有の零細性を温存しながらも経営面積を拡大している事例が少なからずみられるようになった。零細土地所有かつ大経営という新しい条件下における圃場整備は、従来の零細土地所有かつ零細経営という条件下の圃場整備とどのように違うか。また、規模拡大された経営面積は、農家1戸当りどの程度か。

以上の問題に対して、代表的な機械装備体系を想定し、請負や協業のための必要な圃場整備、農家1戸当りの経営面積を理論的に検討し、事例調査によって実証した。さらに、請負や協業を前提とすれば、大区画の圃場整備が可能になり、工事費や潰れ地が少なくなる可能性があることを実証した。

以上が博士論文の要約であるが、博士論文では、水田の貸借の需給条件に対する切り込みがなく、また、経営面積についても、考察が精密でない部分があるので、この欠点を補うべく研究中である。

2. 研究業績

(1) 論文

- 1) 佐久間泰一：請負や協業のために必要な圃場整備 農業土木学会論文集，**77**，pp. 1～5 (1978)
- 2) 佐久間泰一：請負や協業を前提とする大区画の圃場整備の可能性とその難易，農業土木学会論文集，**81**，pp. 61～68 (1979)
- 3) 佐久間泰一，岡本雅美：普通畑の圃場道路施設の整備基準の考え方，畑地農業，**299**，pp. 1～5 (1983)
- 4) 佐久間泰一：非農業用道路用地を共同減歩方式で捻出する方法の検討，農村計画学会誌，**2** (3)，pp. 47～53 (1983)

(2) 報告書

- 1) 千賀裕太郎，広田純一，佐久間泰一：集落整備構想に係る実施計画策定に関する技術的検討—富山県滑川市滑川地区—全国土地改良事業団体連合会，pp. 1～10 (1981)
- 2) 佐久間泰一：土地利用秩序形成のための非農用地換地手法調査報告書，全国土地改良事

業団体連合会, pp. 91～111 (1985)

(3) 口頭発表

1) 佐久間泰一：請負や協業を前提とする場合の圃場整備の必要性と可能性, 農業土木学会大会講演要旨, pp. 256～257 (1983)

2) 佐久間泰一：非農業用道路用地を共同減歩方式で捻出する方法, 農業土木学会大会講演要旨, pp. 374～375 (1984)

(4) その他

1) 佐久間泰一：農村計画に遺した竹中肇教授の足跡, 農村計画学会誌, 4 (1), pp. 29～35 (1985)